

## 和歌山病院 感想レポート



平井 一成

私はこの和歌山病院での2日間の実習を終え、非常に多くのことを得ることができました。まず駿田副院長の結核についての講義は、感染様式の詳細について、同じ空気感染でも結核は飛沫感染などをしないということ、肺結核の病態・診断・治療について、多くを学ぶことができました。また、実際に患者さんに対して看護師さんがDOTSを施行するところを見学させていただいたり、N95マスクを装着して実際に感染防御機構を体験してみたりと、貴重な体験ばかりでした。また、南方院長による正常画像の理解についての講義では、まさに目からウロコでした。今までは画像診断にかなりの苦手意識が芽生えていて、半分諦めていた程でしたが、この講義後、自分は画像診断が得意になったんじゃないかと錯覚するほどでした。これからはもしっかり画像を勉強し、画像診断をしっかりと自分のものにしたいと思います。また、気管支鏡の講義については、何よりもブロンコ体操が印象に残っています。頭で覚えるだけでなく、体に覚えさせる・・・あれからも1日1回は欠かさずやっています！他にも酸素療法やNPPV、人工呼吸器療法についても器具を介してしっかり講義して頂きました。実習外の時間も美味しいご飯に連れて行ってもらって、ためになる話や面白い話をたくさんして頂きました。初めは、2日間も泊まりの実習は正直しんどいかな～なんて思っていたのですが、終わってみればあっという間で、非常に楽しく、知的探究心の刺激される密度の濃い2日間でした。2日間の貴重な体験、本当にありがとうございました！